



2022年12月26日

各位

上場会社名 株式会社ダブルエー  
代表者名 代表取締役 肖 俊偉  
(コード番号：7683 東証グロース)  
問合せ先 取締役 丁 蘊  
(TEL. 03-5423-3601)

### 2023年1月期 第3四半期 決算に関する質疑応答集

当社の2023年1月期第3四半期決算に関して、発表以降に株主、投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想についてその内容と回答について、以下の通りお知らせいたします。なお、本開示は、市場参加者の皆様のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものであります。

決算内容の詳細につきましては、末尾<ご参考>に記載しております決算短信及び決算説明資料をご覧ください。

**Q1：通期計画の進捗率が例年の3Q時点と比較すると好調とのことですが、好調の要因と通期計画達成の見込み、上振れの可能性について教えてください。**

A：今春に実施したテレビCMの効果により「跳べるパンプス」シリーズ及び「ORTR スニーカー」が好調だったことと、あわせてHiHi Jetsの新CMの効果によりさらに「ORTR スニーカー」が好調でした。3Q時点での通期計画に対する進捗率は71.5%と昨年より8.2pt高く、ハイシーズンである4Q(11~1月)もこの勢いを継続し、通期計画の達成と業績の上積みを目指します。

**Q2：3Q(8~10月)の3ヶ月間では、前同期期間との比較で22%増収、利益は2.3倍に上昇とのことですが、その要因を教えてください。**

A：CM放映の効果もあり、ブランド力向上や履き心地やデザイン性などの商品性が評価されリピーターが増えていることから、プロパー価格での販売ができるようになってきております。また、円安や原材料、物流費の影響化にありながら、当社のSPAとしての特徴を生かし、パートナー工場との協力もあり、顧客様が求める商品を最適なタイミングで販売することにより、粗利率を前年同水準に維持することができました。加えて、EC販売も対前年同期比で24.6%上昇したことも利益増加に寄与しています。

**Q3：コロナ禍が落ち着きを取り戻し、店舗に客足が戻る中でもEC売上が好調な要因を教えてください。**

A：一番の好調要因は、ブランド力と商品への信頼です。店舗で購入した商品をECでも購入していただけるケースが非常に増えています。また、新たな取り組みであるジュビターショップチャンネル様の「ショップチャンネル」でのテレビショッピング販売では、9月の生放送で「ORiental TRaffic」の靴4,400足を販売いたしました。12月の生放送では「卑弥呼」の靴3,400足を販売いたしました。さらに、「ORiental TRaffic」公式オンラインストアにて事前に購入した商品を店舗で受け取ることができる「店舗受け取りサービス」を開始いたしました。ネットでの購入がメインの顧客様にも店舗を活用していただきオンラインとオフラインの相乗効果を期待しております。

**Q4：2020年5月にM&Aした「卑弥呼」の状況を教えてください。**

A：店舗売上が着実に増加傾向にあり、新たな取り組みとして「卑弥呼」でもオムニチャネルの活用を始めて非常に好評いただいております。その効果もあり、織研新聞社様主催の「ベストセラー賞」靴部門第1位を4回連続で受賞することができました。10月にはスニーカーの新ラインを展開し、既存顧客だけでなく、新規顧客の獲得にもつながっております。また、来年春には開発に1年半をかけた卑弥呼オリジナル「コンフィジェルサポートインソール」の展開も予定しており、売上向上に注力していきたいと考えております。

<ご参考>

- ・2023年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）2022年12月15日公表
- ・2023年1月期 第3四半期決算補足説明資料 2022年12月15日公表

以上

#### 免責事項

- ・本資料は、当社の企業説明、決算説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・本資料は、2022年12月15日公表の2023年1月期第3四半期決算の内容に関して頂戴したお問合せ、感想などの内容に基づき、一部表現を修正して公表するものであります。
- ・本資料に記載される情報は、いわゆる見通し情報を含んでおり、当該情報は本資料公表時点における当社の見解であり、将来に関する記述につきましては、今後様々な要因により変動する可能性があることをご承知おきください。